

築磯の設置きまる

奇病の
水俣 漁民たち大喜び

水俣漁業組合にこのほど県水産課から築磯設置決定の通知が舞込み奇病で漁場を失い一年半の間援護の手を持っていた同地方漁民達を喜ばせている。この築磯は二百五

十五万六千円の金額が国と県の負担になるもので、設置箇所は県水産試験場、同市漁協が調査したのち選定した同市茂道、双子島、勝崎ヶ鼻、沖の岸からいずれも二〇

〇沖合の海底。

一、四四方大の鉄筋コンクリートブロック作りのものを一集團百四個ずつ沈めることになり、双子島、勝崎ヶ鼻にそれぞれ一集

団、茂道沖に四集團沈め、従来廢船に石を積んで沈めていたものより数倍魚のつきがよいといわれている。

県では三月までに作業を終る計画だが明年夏にはボラ、コダイ類の一本釣漁場として相当の水揚げがあるものと漁民達は期待している。